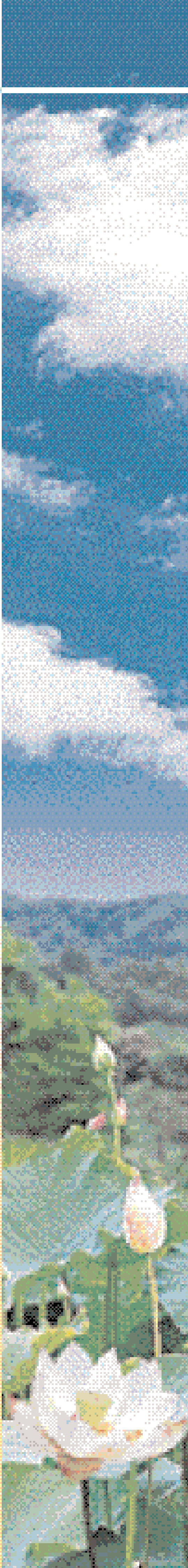
Toyo

広報 とうよう

最終号

Public Relations No.184 2005

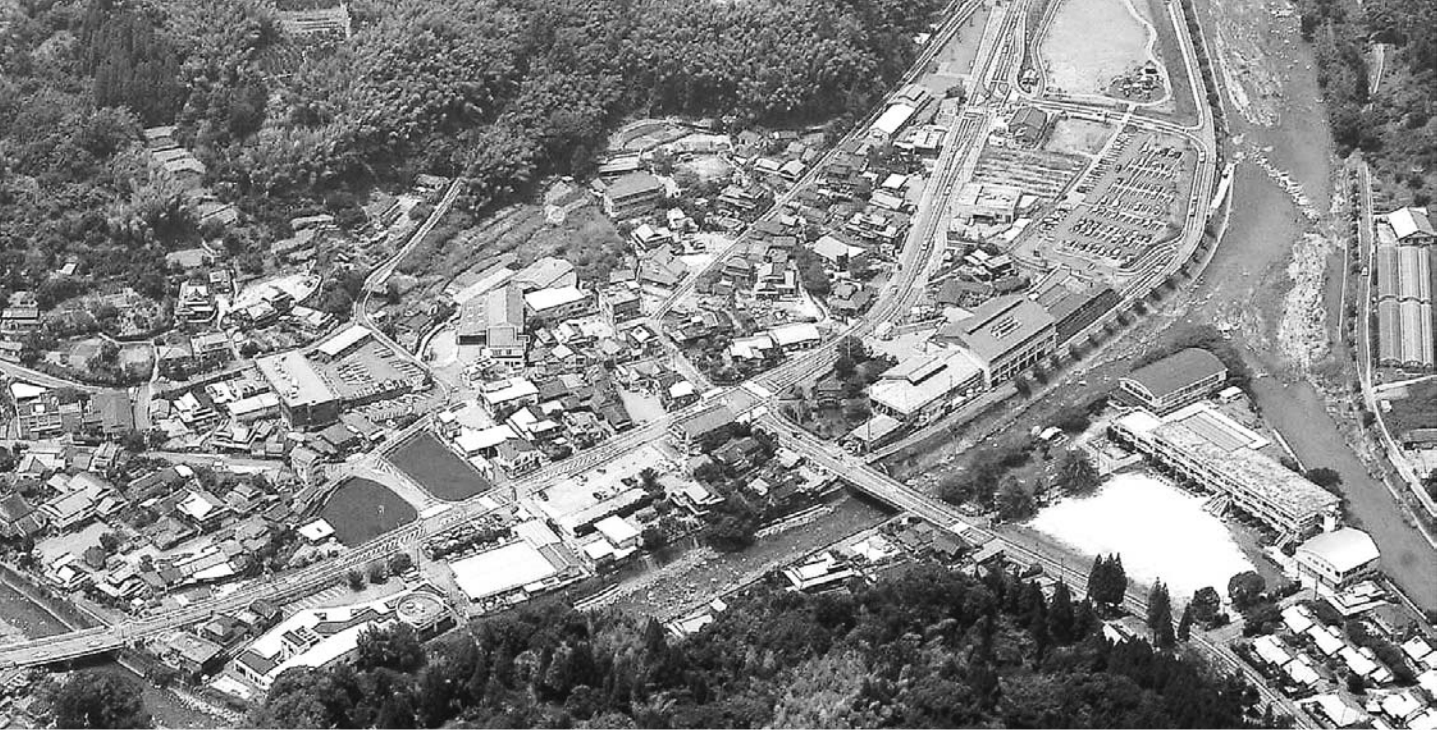


50年の歴史に幕 ―ありがとう東陽村―

東陽村の最後を飾る閉村式終了後に人文字の空撮が行われました。
総勢約500名の参加で平仮名に似せた村章『と』が姿を現しました。

今月の主な内容

- 村を振り返る写真集 …………P4
- 歴代村長・議長 ………………P6
- 合併後ここが変わります …P10



閉村を迎え

東陽村長
橋本幸一

閉村を迎えるあたり、ごあいさつ申し上げます。昭和三十年二月一日、旧種山村と旧河俣村が、昭和の合併で大同団結して発足した本村は、五十年の歴史にいったん幕を閉じ、新しく八代市として生まれ変わります。

昭和の合併当時は、人口五、八二二人、世帯数九三七戸で、当時はまだ新しい自治制度として、地方自治が施行された直後であり、経済的にも極めて不安定な時代でしたが、先人皆様のご協力により幾多の苦難を乗り越え、村政が引き継がれ今日のように発展してまいりました。

これまでの主な事業として、県道、村道等の道路網の整備をはじめ、本村の特産である生姜の振興発展については、全村民のみなさんのたゆまざる研鑽と努力により、質、量においても、県内外に広く高く評価され、大きな伸張をもたらしているところであります。

教育文化施設等の充実強化については、統合中学校等の建設をはじめ、村運動公園、河俣山村広場、総合文化スポーツセンター、石匠館等の整備が図られてきました。

生活住環境施設としては、村分譲地造成事業として、村営住宅十戸、宅地分譲百十二区画の実施、農業集落排水事業、特定地域生活排水事業の実施など、住民生活に欠くことのできない、ハード及びソフト事業の実施推進を図り、長期的視点に立ち、総合的、計画的な行政運営の指針として、地域社会づくりを進めてまいりました。

最近の事業では、数年来の念願であった温泉の掘削に成功し、交流センターの建築、石橋公園及び黒渕河川自然公園等の整備、村全域をエリアとするケーブルテレビ網の整備など、現在順調に推移しているところです。

合併は新たな地域づくりの出発点であります。圏域は多様で豊かな自然や恵まれた地理的条件と、これまで培われてきた歴史、文化があり、「豊かな実り」と「高い拠点性」、「多彩な地域力」を融合させることにより、個性きらめく交流拠点都市への変貌が多く見込まれる新八代市に向かって力強く第一歩を踏み出していこうとするものであり、東陽村が培ってきた温かな人情、硬い団結力、郷土を愛する強い心を大切に継承し、新たな郷土新八代市に夢と希望を託すものであります。

今日まで東陽村を愛し、村政発展のために、ご尽力いただきました先輩各位、議会議員、全村民の皆様のご熱意とご協力に深く敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

最後に、皆々様の更なるご健勝とご多幸を祈念し、閉村のあいさつといたします。

閉村にあたって

東陽村議会議長
村　安

閉村にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

八月一日八代地域六市町村の合併により、創生・輝く新都「八代市」が誕生します。ご承知のとおり、本村は、昭和三十年二月一日、新市町村合併促進法により村民各位の大きな期待のもとに旧種山村・河俣村が合併し、東陽村として発足しました。

昭和の大合併から今日までを振り返ってみますと、その時代時代で、様々な事業が実施され、現在の東陽村へと発展してきました。

農林業では、近代的な農業経営の転換をめざして、農業構造改善事業や林業構造改善事業をはじめとする様々な事業を実施し、中山間地域として農林業の振興が図られてきました。

また、県道、村道等の道路網の整備や、村運動公園、河俣山村広場などの公共施設の整備拡充、農業集落排水事業をはじめとする生活環境と福祉保健センターみどりを核とした社会福祉の向上を図りながら、村振興計画の策定等、着々と発展の道を歩んで参りました。

近年では、交流センターせせらぎ、石橋公園を核とした都市部との交流が盛んに行われる一方、都市部との情報格差是正を目的としたケーブルテレビが整備されるなど、楽しく安心して暮らせる村づくりが進められています。

山紫水明に恵まれた自然環境を生かしながら、現在まで発展し続けてきたのも、村民の皆様方のご理解とご努力はもとより、関係各方面の格別のご指導・ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今日まで半世紀に及ぶ東陽村の歴史に幕を下ろすことになり、一抹の寂しさもありますが、これから八代市になりましても、これまでの長い歴史を想い「しょうがと石工の里」東陽村を忘れることなく、今まで同様に全町民挙げて、地域の発展に尚一層の創意工夫を凝らして努力して行かなければならないと思います。

終わりに臨み、これからの八代市東陽町の限りない発展と町民の皆様方のご健勝をお祈り申し上げまして、ごあいさつといたします。

村を振り返る写真集

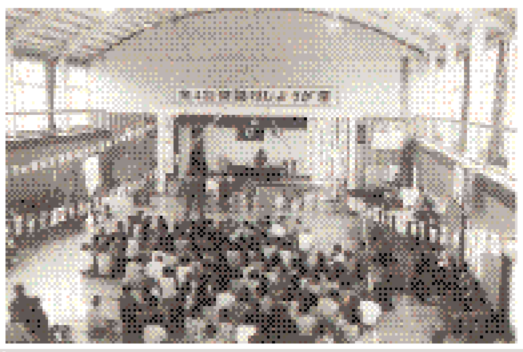
昭和30年代～昭和50年代

昭和40年代学校給食

昭和30年合併記念式典

旧東陽村役場庁舎

昭和34年消防出初式



昭和50年代しょうが祭りの様子

昭和47年集中豪雨により大村橋が崩壊

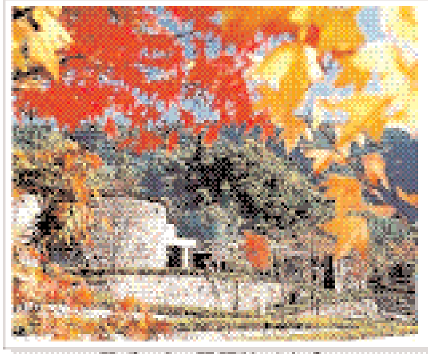
一九五五～二〇〇五 東陽村五十年のあゆみ

● 年表 ●

- 1955(昭和30)年 種山、河俣の二つの村が合併し、東陽村となる
- 1956(昭和31)年 県道人吉～宮原線大通峠開通
- 1957(昭和32)年 種山小学校第三校舎南四教室増築
- 1958(昭和33)年 座連桶渕橋架替　赤山農道改良工事
- 1959(昭和34)年 南地区簡易水道完成　平山幹線道路完成
- 1960(昭和35)年 公民館結婚第一号　座連中尾橋架替
- 1961(昭和36)年 種山小学校・種山中学校ミルク給食開始
- 1962(昭和37)年 東陽村青年団結成　内の木場分校赤電話設置
- 1963(昭和38)年 集中豪雨(各地に大被害、死者一名)
- 1964(昭和39)年 坂より上保育所設置
- 1965(昭和40)年 故・橋本勘五郎氏県教育委員会から近代文化功労者として表彰　箱石保育所設置
- 1966(昭和41)年 農業構造改善事業(実施)
- 1967(昭和42)年 内の木場分校施設完成
- 1968(昭和43)年 種山小学校校章、標準服制定
- 1969(昭和44)年 種山、河俣中学校統合し、東陽中学校と改称
- 1970(昭和45)年 東陽中学校校舎完成　村ソフトボール協会誕生
- 1971(昭和46)年 子供会及び育成会発足　村敬老年金制度の実施
- 1972(昭和47)年 集中豪雨(各地に被害)種山小学校床上七十センチ浸水
- 1973(昭和48)年 東陽村学校給食センター完成及び完全給食開始
- 1974(昭和49)年 地域集団電話設置(全域)　種山小学校プール完成
- 1975(昭和50)年 河俣小学校プール完成　第一回しょうが祭り実施
- 1976(昭和51)年
- 1977(昭和52)年 種山小学校体育館完成
- 1978(昭和53)年 公社電話自動化切替(全域)　東陽中学校プール竣工
- 1979(昭和54)年 役場新庁舎完成
- 1980(昭和55)年 黒渕公民館完成

昭和60年代～現在

平成16年 石橋公園が整備される


平成6年 石匠館が完成

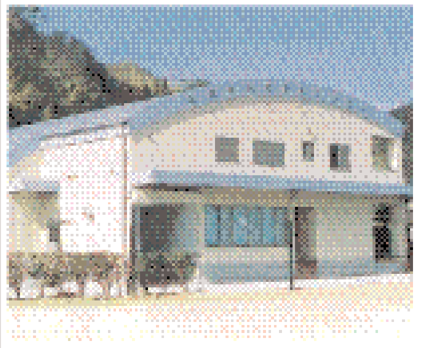
定住センターでのひとぎの様子

平成17年 交流センター「せせらぎ」オープン

平成7年 スポーツセンターが完成

平成元年 信号機設置

平成17年 6市町村による合併調印式


平成12年 学校給食センターが完成

平成2年 樅の木団地（ゆうやの里）が完成

1981（昭和五六）年　内の木場分校プール竣工　河俣小学校六学級編制となる

1982（昭和五七）年　村運動公園造成工事　山村地域農林漁業特別対策事業

1983（昭和五八）年　企業誘致の導入（浜松中央織物株式会社）

1984（昭和五九）年　東陽村総合振興計画樹立

1985（昭和六〇）年　差野宅地造成（二十区画完成）

1986（昭和六一）年　河俣小学校校舎落成　選挙投票所を統合

1987（昭和六二）年　定住センター完成　集落統合

1988（昭和六三）年　故・緒方正規博士県教育委員会から近代文化功労者として表彰

1989（平成元）年　東陽郵便局現在地へ新築移転　信号機設置（定住センター前交差点）婦人会発足

1990（平成二）年　ゆうやの里完成　株式会社トーヨー工場落成　河俣郵便局現地へ新築移転

1991（平成三）年　東陽中学校柔剣道場完成

1992（平成四）年　栗林住宅団地造成　内の木場分校校舎落成

1993（平成五）年　河俣山村広場完成　台風十三号猛威をふるう

1994（平成六）年　石匠館落成　東陽村マスコット決定

1995（平成七）年　総合文化スポーツセンター落成　「緒方正規氏・「橋本勘五郎」氏・「島田弥市」氏を名誉村民とする

1996（平成八）年　東陽村が「潤いと活力のあるまちづくり」優良団体として自治大臣表彰を受賞　菜摘館オープン　ひかわの里落成

1997（平成九）年　河俣保育所の新園舎が完成　黒木止善館オープン

1998（平成一〇）年　情報連絡防災無線システムを村内全域・全戸対象に整備

1999（平成一一）年　台風十八号村内に甚大な被害　地域振興券交付

2000（平成一二）年　学校給食センター改築　河俣地区鶴下橋完成

2001（平成一三）年　交流空間整備計画策定

2002（平成一四）年　森下地区歴史水辺公園整備工事と温泉掘削工事開始

2003（平成一五）年　ケーブルテレビ事業着手　温泉掘削現場で温泉湧出

2004（平成一六）年　ケーブルテレビ開局　石橋公園完成　村合併五十周年

2005（平成一七）年　交流センターせせらぎオープン　八代市、坂本村、千丁町、鏡町、東陽村、泉村の六市町村が合併し、八代市となる

ありがとう東陽村

―東陽村閉村式―

東陽村の五十年の歴史に幕を下ろす東陽村閉村式が七月十七日（日）、スポーツセンターにおいて盛大に開催されました。

式典には橋本村長をはじめ、多数の来賓や村民のみなさん、約六百人が出席しました。

橋本村長による式辞、村議長のあいさつの後、東陽村が誕生した当初からの出来事や世相の経過報告が行われ、会場からは懐かしさを感じる声が多く聞かれました。

また、小・中学生による思い出作文の表彰と朗読が行われ、東陽村の自慢や思い出が発表され、会場からはたくさんの拍手が送られました。

この他にも消防団団期返納、村旗降納・返納が行われ、長年慣れ親しんできた村旗がたたまれると、会場からは涙ぐむ人の姿も見られました。

最後は出席者全員による万歳三唱が行われ、村の最後の行事にふさわしい式典となりました。

式典後のアトラクションの部は東陽村の歴史を振り返る思い出ビデオの放映や石匠太鼓による太鼓演奏が行われ、式典に花を添えました。

そして、グランドに場所を移して行われた人文字撮影では村章の「と」を村民一人ひとりが一体となり空撮をしました。

また、希望者による村内一円を上空から一望するヘリコプター遊覧飛行では、時間待ちが出るほど多くのお客さんで賑わいを見せました。

合併してからも東陽村を忘れることのない村の最後を飾るにふさわしい閉村式となりました。

約600名の出席のもと、盛大に行われた東陽村閉村式

消防団による団旗返納

思い出作文表彰者（左から氏原侑香さん、澤田夏希さん、藤本雅子さん、坂田励起くん）

出席者全員による万歳三唱

賑わいを見せたヘリコプター遊覧飛行

歴代村長

東陽村発足以来、５人の村長が誕生し、村民が快適な生活を送るために各機能を働かせ、村民参加の行政運営が図られてきました。また、住民に開かれた情報を提供し、住民の声を取り入れるシステムづくりが着々と進められてきました。

歴代村長は、それぞれの時代時代で行政手腕をいかんなく発揮し、村発展にご尽力されました。

初・二・四代
前田　正勝　氏

三・五代
押方　信行　氏

六・七代
村崎　年幸　氏

八～十二代
山本　　繁　氏

～現在
橋本　幸一　氏

初 代
福島　貞雄　氏

歴代議長

議会は議決機関として、住民の意思を十分に反映させながら村の方針を決定するとともに、予算や条例などの重要事項が審議されてきました。

また、議会で議決され事項は、執行機関により実行に移され、住民生活の向上に役立つように進められてきました。

五 代
蓑崎　悟　氏

四 代
徳永　宏　氏

三 代
田村　茂則　氏

二 代
本島　貞喜　氏

十 代
藤岡　隆　氏

九 代
山本　繁　氏

八 代
中村　實　氏

六 代
山口　鎮男　氏

十四・十七 代
堀　勝正　氏

十三 代
野村　鉄夫　氏

十二 代
黒田　巌　氏

十一 代
田嶋　昭四郎　氏

十九 代
村　安　氏

十八 代
黒田　武生　氏

十六 代
橋本　幸一　氏

十五 代
坂崎　孝弼　氏

ちの東陽村

インタビュー～

した。村民のみなさんから『東陽村の思い出』・『新市への期待』

ントを紹介します。

上村克弘さん（早瀬）

東陽村も私も共に生誕五十年という節目の年に、市町村合併を迎えることは、大変感慨深いものがあります。村のこれまでの歴史と自分の歩みを重ね、記念すべき出来事（東陽中学校第一期生等）に携わり、何か縁を感じます。又、村の広報のお手伝いを通して、これまで知らなかった村の風景、人情味豊かな人たちとのふれあいができたことは、大きな財産です。合併後も変わることなく、光り輝く地域であることを願っております。

蓑田里恵さん（鹿路）

私は東陽村に二十六年住んできました。この村の良い所は、地域の人々が自分の家族のように思えることだと思います。あいさつで始まる朝「おはよう」の声。それらに支えられて私は育てられてきたのです。

東陽村は私の故郷です。学生のころ、「村民」ということを恥ずかしいと思っていた私ですが、今では誇りに思っています。それは自然の素晴らしさや人々の優しさに日々、触れていられるおかげだと思うからです。

八月から新市誕生にあたり「東陽町」としての益々の活性化、そして他の山間地域も同じく広い範囲での行き届いたまちづくりを望んでいます。

堺　優一さん（畑中）

私がこの村に生まれて三十一年が過ぎました。高校を卒業後、熊本市の専門学校に進学し、そのまま就職して八年間村外で生活してきましたが、やはり生まれ育った地元『東陽村』がイイですね。特に子育てをするにはもってこいの自然環境ではないでしょうか。世の中の大きな流れの中で『東陽村』の使い慣れた名前が無くなってしまう事は非常に残念なことですが、名前が変わるだけで、無くなってしまう訳ではありません。これからは八代市に『東陽』ありと言われるぐらいの新しいまちづくりに期待します。

奥田恵里香さん（久木野）

私は六歳まで東陽村で過ごしその後、宮原や熊本に住んだこともありましたが、運命なのかまた、東陽村に帰ってきました。

以前、宮原に住んでいた頃に「東陽村は不便だし、学校の部活も少ないので子どもがかわいそうだ」という声を聞いたことがあります。今、私には中学生の娘がいますが田舎で生徒数が少ないということで先生の目も一人ひとりに行き届き、子どもたちもがんばっていると思います。また、地域のみなさんが暖かく見守ってくださるので親としても安心して子どもを育てることができ、子どもたちも幸福だなと思います。東陽村という田舎だからこそ、こういう周りの人たちの暖かい心を感じることができ、本当に東陽村に住んでいてよかったと思います。

私たち

～村民

東陽村が誕生し、50年がたちまし
等のコメントをいただきました。
10代から70代のみなさんのコメ

東陽中学校三年生

- 東陽村の山や川などのたくさんの自然で遊べてよかった。
- たくさんの自然に囲まれて、いい環境で勉強ができる。
- 八代市になっても自然がいっぱいで人の温かさが溢れる町であって欲しい。
- 都会ではできない遊びができて良かった。
- しょうが祭が楽しかったです。
- 楽しい思い出をありがとう。
- 村民みんなが家族みたい。
- 思い出をいっぱいありがとう。
  いい所を残して生まれ変われ！東陽村。
- 東陽村の人はいい人だし、私たちを応援してくれるから好き。
- 今までアリガトウ。これからもヨロシク。

東陽中学校　３年生（敬称略）

上原　美紗	上村誠衣菜
梅本　和海	木村　康平
木村　円香	下村　智子
下村夢都美	白石　将己
白濱　裕之	田嶋　悠璃
徳永　　亮	野方　昭子
野　　明香	畑中　梨奈
平木　貴博	藤本　雅子
古田　智宏	本田　大智
益田　義成	松永　周子
水本　隆弘	蓑崎　芙美
森　　太旗	森本健太郎
山口　公広	山口　真知

橋本　剛さん（差野）

友人宅に仲間と泊まり込んで囲碁や川遊びに興じた学生時代。

縁あって東陽村民になって四十四年。光陰矢の如しである。

生徒指導や連絡指導に取り組んだ種山中時代、放課後児童とソフトボールで遊んだ河俣小時代、若かった頃が懐かしい。

通勤途中、子どもをバイクで保育園に送り、病気で医院へ、子育てには随分と協力した。先輩二人と自動車学校行きを約束、お陰で免許を取得できた。

息子に彼女ができ、村とは言えず東陽町と言ったとか。八月一日から八代市東陽町。息子も先見の明があったのかも？

坂井チエ子さん（内の原）

東陽村に生まれ育って七十六年の月日が経ちました。昭和三十年、種山村と河俣村が合併し東陽村となり五十年。振り返ってみますと、たくさんの出来事があり、又たくさんの施設ができて道路の整備等もよくなりました。豊かな自然に恵まれ、人情味ある東陽村が大好きです。

八月一日から八代市になり少しさみしい気持ちもあります。

でも、新たな気持ちで八代市の一市民として一日一日を大切に過ごして行きたいと思います。

合併後ここが変わります
－新「八代市」誕生－

８月１日、八代市、坂本村、千丁町、鏡町、東陽村、泉村が合併し、新「八代市」が誕生します。合併でどんな点が変わるのか、主な変更点を紹介します。

東陽支所　34人

課	業務
総務課	地域審議会、地域振興、地域自治組織、行政区及び区長、要望陳情、広報、公聴、CATV、交通安全、消防防災、情報公開、個人情報保護、統計調査、庶務、庁舎管理、支所内総合調整、社会教育、文化振興、スポーツ振興、選挙、監査補助
市民環境課	戸籍、住民記録、印鑑、外国人登録、市税、住民相談、消費者行政、人権啓発、一般廃棄物、浄化槽、動物、環境美化、環境保全、害虫駆除、現金・物品出納保管
健康福祉課	障害・老人・母子・児童福祉、民生児童委員、介護保険、健康増進、健康指導、予防事業、国民健康保険、国民年金
└福祉保健センター	
産業振興課	農業振興、農業基盤整備、農業委員会、石匠館、商工観光業振興、水産業振興、林業振興、林道、林業基盤整備、国土地籍調査
建設課	道路、水路、河川の維持改良、占用許可、公園緑地、公営住宅

施設	
公民館	総務課補助執行
保育所	４人
給食センター	２人
学校	

８月１日から東陽村役場は、八代市東陽支所に変わります。

支所の組織も表のとおり変わりますので、ご確認ください。

主な変更点は、税務課、会計室の業務、保健センターみどりの業務の一部が市民環境課へ統合され、教育委員会の業務が総務課へ統合されます。

また、企画広報課の業務が総務課と産業振興課に分かれます。

八代地域市町村合併のこれまでの経緯

- **平成十二年三月**　熊本県が「市町村合併推進要綱」を公表
- **平成十三年十二月**　任意協議会「八代地域市町村合併協議会」が発足
- **平成十四年八月**　各市町村で臨時議会が開かれ、九月一日法定協議会設置を議決
- **平成十四年九月一日**　法定協議会「八代地域市町村合併協議会」が設置
- **平成十四年十月**　四十八項目の合併協定項目を確認
- **平成十四年十一月**　新設（対等）合併方式を確認
- **平成十四年十二月**　合併期日平成十七年一月十六日を確認
- **平成十五年四月**　新市の事務所の位置は当分の間現在の八代市役所とすることを確認
- **平成十五年七月**　新市名称「八代市」を確認
- **平成十五年八月**　議会議員の定数及び任期は「四十二人の定数特例とし選挙区は設置しない」ことを確認
- **平成十五年十月**　竜北町と宮原町が合併協議会からの離脱を表明
- **平成十六年十一月～平成十七年二月**　八代市、坂本村、千丁町、鏡町、東陽村、泉村の６市町村で新たな枠組みを協議
- **平成十六年三月**　八代市、坂本村、千丁町、鏡町、東陽村、泉村の六市町村で法定協議会が設置

Q ごみ袋の金額はどうなるの？

A 今まで村内のごみ袋は１枚15円でしたが、合併後は新市において、１枚50円となります。

Q 国民健康保険被保険者証・老人保健医療受給者証が変わります。

A ７月末日までに各家庭へ八代市国民健康保険被保険者証並びに老人保健医療受給者証を送付します。（国民健康保険被保険者証は世帯証から個人証となり、国保加入者ごとに一枚となります。）

　なお、東陽村から交付を受けた老人保健医療受給者証は回収しますので、同封の返信用封筒で返送してください。（国民健康保険被保険者証はハサミを入れるなどして各自で処分してください。）

Q 合併後の保育料はどうなるの？

A 合併に伴い、下表のとおり保育料が変更になります。

新市保育料撤収基準額表

各月初日の入所児童の属する世帯の階層区分				徴収基準額（月額）	
国階層区分	階層区分	定義		3歳未満児	3歳以上児
第1	第1	生活保護法による被保護世帯		0	0
第2	第2-1	第1階層及び第4～第7階層を除き、前年度分の市町村民額の区分が次の区分に該当する世帯	市町村民税非課税世帯 住宅障害児（者）のいる世帯 又は母子世帯等	0	
	第2-2		市町村民税非課税世帯	5,000	4,000
第3	第3-1		市町村民税 課税世帯（均等割）	10,000	8,000
	第3-2		市町村民税 課税世帯（所得割）	12,000	10,000
第4	第4-1	第1階層を除き、前年度分の所得税課税世帯であって、その所得税の額の区分が次の区分に該当する世帯	32,000円未満	17,000	15,000
	第4-2		32,000円以上 64,000円未満	20,000	18,000
第5	第5-1		64,000円以上 80,000円未満	22,000	19,000
	第5-2		64,000円以上 112,000円未満	24,000	22,000
	第5-3		112,000円以上 160,000円未満	27,000	23,000
第6	第6-1		160,000円以上 200,000円未満	32,000	24,000
	第6-2		200,000円以上 408,000円未満	34,000	25,000
第7	第7		408,000円以上	36,000	26,000

Q 地方税はどうなるの？

A 法人市民税の税率は８月１日から標準税率に1.2を乗じた制限税率となります。

固定資産税の税率は1.6%となります。ただし、平成17年度から平成19年度までは1.4%とし、平成20年度から平成21年度まで1.5%となります。また社会経済情勢によっては1.5%から1.6%に引き上げる時期が前後することもあり得ます。

Q 原動機付自転車等の標識（ナンバープレート）はどうなるの？

A 旧市町村で交付済みの標識は、新市においても継続して使用できます。また、旧市町村で交付済みの標識を新市の標識に登録する場合は、無料にて標識交付します。（旧標識を取り外し返納してください。）

税務関係各種証明金額表

税務関係各種証明	所得証明	所得証明（市町村県民税課税証明書）	**300円**
		所得証明（児童手当用）	**300円**
		その他諸証明（営業、軽油免税等）	**300円**
	納税証明		**300円**
	資産証明	土地所有証明	**300円**
		資産証明	**300円**
		評価証明	**300円**
		課税証明	**300円**
		公課証明	**300円**
		課税台帳記載事項証明（評価迄、税額のみ）	**300円**
	住宅用家屋証明		**1,300円**

第十五回法定協議会で合併の方式（新設「対等」合併）・合併の期日（平成十七年八月一日）・新市の名称（八代市）などを確認

●**平成十六年四月**
町・字の区域及び名称の取扱いなどを確認

●**平成十六年五月**
公共的団体等の取扱いなどを確認

●**平成十六年七月**
議会議員の定数三十四人及び任期の取扱いを確認

●**平成十六年八月**
学校教育関係事業の取扱いなどを確認

●**平成十六年九月**
使用料、手数料等の取扱いなどを確認

●**平成十六年十月**
特別職の報酬等に関する小委員会設置

●**平成十六年十一月**
新市の市章・農業委員会の定数三十人及び任期などを確認

●**平成十七年一月**
地方税の取扱い・ごみ収集運搬業務の取扱いなどを確認

●**平成十七年二月**
福祉制度の取扱い・国民健康保険事業の取扱いなどを確認
各部会の補助金・交付金の取扱いなどを確認

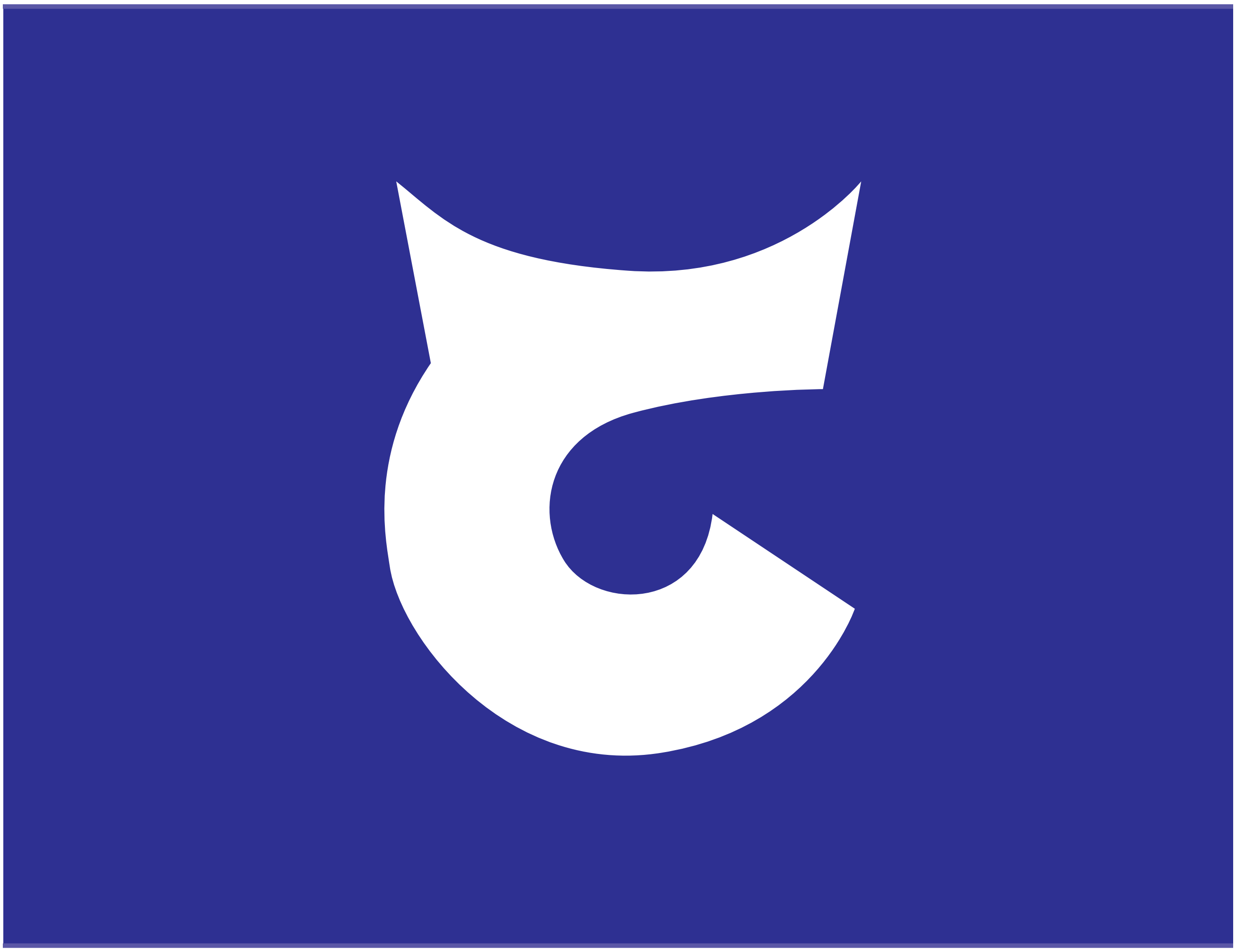
●**平成十七年三月**
新市建設計画案を確認

●**平成十七年三月十三日**
八代市、坂本村、千丁町、鏡町、東陽村、泉村合併調印式

●**平成十七年三月二十二日**
東陽村議会配置分合議案全会一致で可決

●**平成十七年三月三十日**
配置分合県知事申請

●**平成十七年八月一日**
新「八代市」誕生



ご愛読ありがとうございました
―広報とうよう最終号にあたって―

広報とうようは、今月の最終号をもちまして最後の発行となりました。

当初は公民館（教育委員会）で発行していましたが、平成二年五月号から現在まで企画広報課で編集・発行してまいりました。

住民のみなさんのご協力により、長年にわたり、編集・発行できたことに感謝申し上げます。

八月から八代市、坂本村、千丁町、鏡町、東陽村、泉村が合併し、新「八代市」となります。広報紙の発行は新市全域で作成し、毎月一日と十五日の月二回、八代市役所広報広聴課が広報やつしろを発行します。

これからも広報やつしろの作成の際にはご協力をお願いいたします。

最後に広報とうよう作成にあたりご協力・ご愛読いただき、誠にありがとうございました。

戸籍の窓（敬称略）

◎健やかな成長を

6・9　寺田卓朗（種山）
（父・忠義　母・明子）

6・11　前田純希（平野団地）
（父・貴弘　母・明美）

◎おくやみ

6・19　山田ハツミ　(96)
6・25　黒田　末雄　(89)
7・2　星田　境　(80)
7・4　藤本　和貴　(54)

◎香典返し

故人　寄贈者

宮本　正之　宮本フミ子
（寄贈先　村社会福祉協議会）

山田ハツミ　宮本ツヨ子
（寄贈先　村社会福祉協議会）

黒田　末雄　黒田マスミ
（寄贈先　村社会福祉協議会）
（寄贈先　若葉老人会）

星田　境　星田　数子
（寄贈先　村社会福祉協議会）

藤本　和貴　藤本聡一郎
（寄贈先　村社会福祉協議会）

☆村のうごき☆
（平成17年6月30日現在）

人口	男	1,298人
	女	1,479人
	計	2,777人
	世帯数	847世帯
6月中の異動内訳	出生2　死亡2	
	転入0　転出7	

☆火災・救急の発生件数☆
（平成17年6月30日現在）

		火災	救急
広域全体	本年	35	2,763
	前年	45	2,412
	増減	−10	＋351
東陽村	本年	1	50
	前年	1	51
	増減	0	−1

2005年（平成17年）　8月1日発行
発行／東陽村　編集／東陽村企画広報課　☎0965−65−2111
印刷／　堀川印刷